

次代に

つなぐ

技とひと

PEOPLE AND TECHNIQUES BUILDING BRIDGES TO THE FUTURE

SENKOKU
MUSEUM

泉屋
博古館

HIGHLIGHTS FROM THE CULTURAL PROPERTY MAINTENANCE
AND RESTORATION GRANT
PROGRAM SUPPORTED BY THE SUMITOMO FOUNDATION

NEW LIFE FOR
TIMELESS ART 2026

永遠に
2026

2026 4/4^{±sat} - 6/28^{日sun}

Ⅰ期 4/4(±)-5/6(水) Ⅱ期 5/9(±)-5/31(日) Ⅲ期 6/2(火)-6/28(日)

【開館時間】10:00-17:00 ※入館は16:30まで

【休館日】月曜日、4/24(金)、5/7(木)、5/8(金) ※5/4(月・祝)開館

【入館料】一般1,200円(1,000円)、学生800円(700円)、18歳以下無料

●学生・18歳以下のかたは証明書をご呈示ください ●本展覧会の入館料でプロズギャラリーも

ご覧いただけます ●20名様以上は()の団体料金 ●障がい者手帳等ご呈示のかたはご

本人および同伴者1名まで無料 ●お得なセット券を期間限定販売します。詳しくはHPで

【主催】公益財団法人泉屋博古館、公益財団法人住友財団、日本経済新聞社、京都新聞

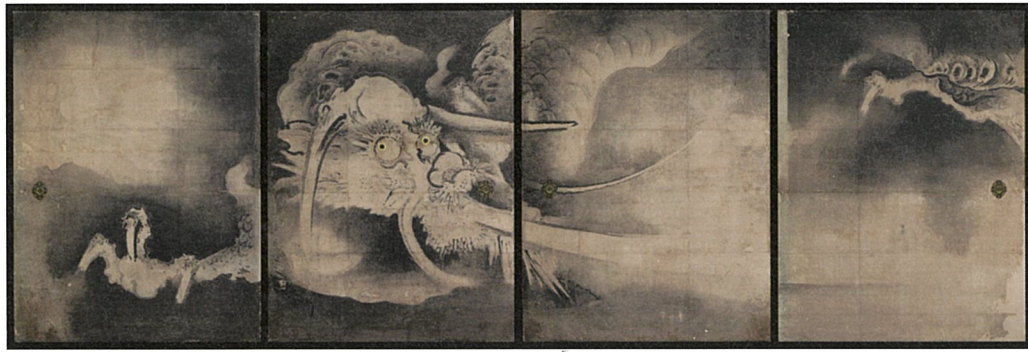
【後援】京都市、京都市教育委員会、京都市内博物館施設連絡協議会、公益社団法人京都市

観光協会、NHK京都放送局 【協力】一般社団法人国宝修理装演師連盟

上:重要文化財《佐竹本三十六歌仙絵切「源信明」(修理風景) 泉屋博古館蔵(撮影:群柳苑)【Ⅰ期】

下:海北友雪筆 麟祥院本堂障壁画《雲龍図》(修理風景) 麟祥院蔵【場面替あり】

住友財団文化財維持・修復事業助成の成果展示



河北友雪筆 麟祥院本堂障壁画(愛龍図)
江戸時代17世紀 京都市 麟祥院蔵(場面替えあり)



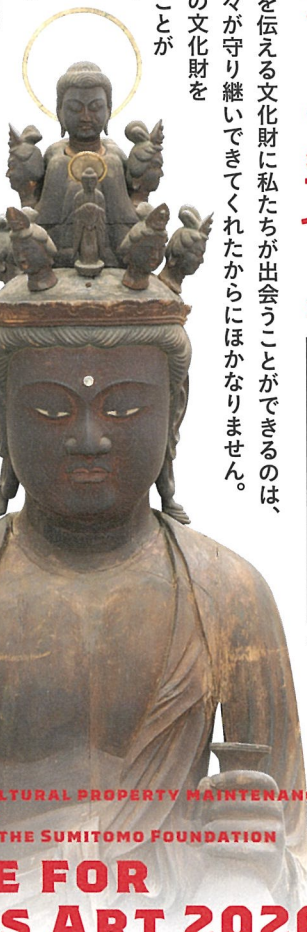
重要文化財
「紅襦織地対文友禅染振袖」
江戸時代18世紀
京都市・友禅史会蔵
【Ⅲ期】



重要文化財 李鳳筆《弥勒下生变相図》
高麗・忠烈王20年(1294) 京都市・妙満寺蔵【Ⅱ期】

「住友財団とは」住友財団は、1991年創立以来、人類共通の宝である文化財を後世に伝えることを現代人の責務と考え、文化財維持修復事業の助成に努めてきました。民間の立場から、国内と海外の文化財を対象に1400件を超える助成を続けてきました。

本展では、住友財団の助成事業によって修理が完了した文化財をご紹介します。美しくよみがえった文化財の裏側にある最新の修理技術や修理に奔走した人々の熱意にスポットを当てて、文化財修理の意義とこれからの考えます。



重要文化財
《木造十一面観音立像》
鎌倉文化5年(1268)
長岡京市・乙訓寺蔵
【Ⅱ・Ⅲ期】



住友財団文化財維持・
修復事業助成の成果展示

文化財よ、永遠に 2026

Ⅰ期 4/4(土) 5/6(水)
Ⅱ期 5/9(土) 5/31(日)
Ⅲ期 6/2(火) 6/28(日)

会期中
展示替えを
行います



京都府指定文化財《宝珠台》鎌倉〜南北朝時代 14世紀
木津川市・海住山寺蔵【Ⅰ期】

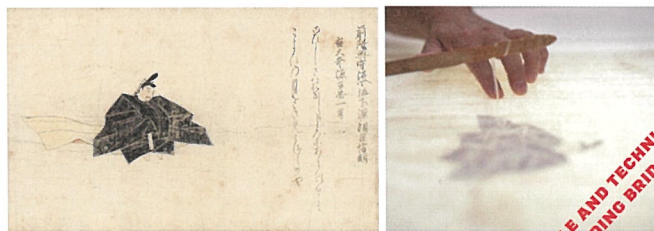


《繡子地刺繍仏涅槃図》江戸・元禄4年(1691)
京都市・三寶寺蔵【Ⅰ期】



巨大な涅槃図はなんと刺繍！
機たわる釈迦は取り外し可能…なぜ？
28日間の限定公開をお見逃しなく。

HIGHLIGHTS FROM THE CULTURAL PROPERTY MAINTENANCE
AND RESTORATION GRANT
PROGRAM SUPPORTED BY THE SUMITOMO FOUNDATION
**NEW LIFE FOR
TIMELESS ART 2026**



重要文化財《佐竹本三十六歌仙絵切「源信明」》鎌倉時代13世紀 泉屋博古館蔵【Ⅰ期】

重要文化財 大工頭中井家関係資料から《吉田社建地割》
中井正知氏・正純氏蔵 大阪市立住まのミュージアム寄託
【Ⅲ期】



撮影：京都市



泉屋博古館 SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM

地下鉄 東西線「蹴上駅」から徒歩約20分
市バス 5、93、203、204系統「東天王町」下車、
東へ200メートル
32系統「宮ノ前町」下車すぐ

〒606-8431 京都市左区区鹿ヶ谷宮ノ前町24
TEL 075-771-6411
HP <https://sen-oku.or.jp/kyoto/>

休館日・閉館時間および展示内容を変更する場合がございます。当館のホームページ、SNS等で最新の情報をご確認ください。

記念講演会「信頼の絆を育む
文化財の保存修復」

4月11日(土) 14時-15時30分
今津節生氏(奈良大学学長)

修理の現場から

①泉屋博古館所蔵「佐竹本」の修理を語る

4月25日(土) 14時-16時(予定)
大原由佳子氏(文化庁文化財調査官)
梶谷誠氏(岡風光堂)
実方葉子(当館学芸部長)

②中井家文書「起こし絵図」の修理を語る

6月20日(土) 14時-15時45分(予定)
谷直樹氏(大阪市立大学名誉教授)
坂田さこ氏(坂田墨珠堂社長)

文化財保護行政の最前線

京都府編

①彫刻・工芸—長岡京市・乙訓寺所蔵

「木造十一面観音立像」を中心に
5月16日(土) 14時-15時30分
桑原正明氏(京都府文化財保護課)

②絵画—京都市・天龍寺所蔵

「絹本着色観世音菩薩像」を中心に
5月30日(土) 14時-15時30分
長谷川真信氏(京都府文化財保護課)

③古文書・歴史資料

—京都市・上賀茂神社所蔵「賀茂別雷神社文書」を中心に
6月13日(土) 14時-15時30分
稲穂将士氏(京都府文化財保護課)

滋賀県編

④美術工芸—近江八幡市・新宮神社所蔵

「薬師十二神将像」を中心に
6月27日(土) 14時-15時30分
古川史隆氏(滋賀県文化財保護課)

“絵解き”—語り継がれてきた浦嶋明神縁起谷

6月22日(月) 14時-15時45分(予定)
絵解き：宮崎淑久氏(浦嶋神社宮司)
修理について：大野恭子氏(修美副社長)
丹後半島の伊根、浦嶋伝説残る浦嶋神社の絵解きを特別に京都市内でお聞きいただける貴重な機会です。絵解き用の掛軸修理の話も振り返る館内貸切プログラム。

南北朝時代14世紀 近江八幡市・新宮神社蔵【Ⅲ期】
滋賀県指定文化財《薬師十二神将像》

ライニング・プログラム
いずれも要予約 当館Webサイトに3、4、朝10時受付開始・要入館券